

# 地域NEWS

エネジン

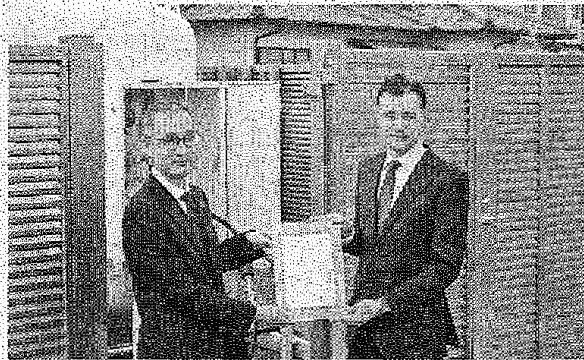
## 杏林堂と供給協定

CNLPガス  
取扱開始

エネジン（浜松市中央区、藤田源右衛門社長）は、2月よりカーボンニュートラルLPガス（CNLPガス）の取り扱いを開始した。4月17日には供給先第1号となる杏林堂薬局（浜松市中央区、小河路直孝社長）との供給協定式を行った。

同社は民間セクターが

主導する「ボランティアクレジット」により、排出するCO<sub>2</sub>を相殺するCNLPガスを提供する。設備投資が必要なく、環境保全に貢献できるため、地域の持続可能性を高めるとして注目される。



100トンのカーボンクレジットを販売し、杏林堂薬局がそのうち10トンを購入、これにより33トンのCO<sub>2</sub>排出を相殺できる。

小河路社長は「SDGsの推進に向け、自らの活動と、周囲のおのずからの活動を引き出す、両方を大事にしたい」とあいさつ。藤田社長は「協力に感謝する。今後CNLPガスの取り組みをさらに広げていきたい」と述べた。

藤田社長（左）が小河路社長と協定書を交わした